



# IUFRO-J NEWS

No. 82 (2004.8) —

## IUFRO-J平成16年度機関代表者会議

平成16年4月3日、東京大学農学部7号館A棟105室において標記会議を開催いたしました。A会員20機関、B会員2機関の合計22機関代表と、鈴木和夫IUFRO第7部会会長が出席されました。会議では田中潔IUFRO-J議長の挨拶の後、堀靖人主事の司会で議事が進められました。以下では、この代表者会議で審議、承認された議題の概要を報告します。なお、会議開催につきまして、第115回日本林学会大会運営委員会の皆さまに大変お世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。

### 1. 平成15年度会務報告

#### 1. 一般会計

##### 1) IUFRO-J News発行

No.79 (2003. 8) : 部会報告・機関代表会議報告

No.80 (2003.12) : 理事会報告・集会報告

No.81 (2004. 3) : 集会報告

会誌送付会員 (平成16年3月23日現在 (会費納入者数)) の現状

A会員 : 28機関 (740) 名分納入済み  
(会員数前年度比 : 1人増)

B会員 : 23機関17機関納入済み  
(会員数前年度比 : 5人増)

C会員 : 39名 (31) 名納入済み  
(会員数前年度比 : 4人減)

賛助会員 : なし

#### 2) 理事会出席助成

鈴木理事第42回理事会

(2003.9.25～27 ケベック)

今年度予算執行

#### 3) IUFRO関連研究集会事務局・参加助成事務局 (13万円)

伊藤 太一

木口 実

内藤 健司

参加 (10万円)

寺澤 和彦

#### 2. 平成15年度役員

議長 田中 潔 (森林総研)

幹事 沢田 治雄 (森林総研)

山本 幸一 (森林総研)

監事 根橋 達三 (日林協)

三國 昇 (林 振)

主事 堀 靖人 (森林総研)

## Ⅱ. 平成15年度会計決算報告

## 1. 一般会計(平成16年3月23日現在)

(収 入)

科 目	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	1,784,416	1,823,152	繰上金計算方法の変更
会費 A会員	816,000	740,000	
B会員	144,000	106,000	
C会員	40,000	26,000	
前年度未収分	127,000	35,000	
会費前納分		5,000	
雑 収 入	1,000	4,571	札幌、IUFRO専門誌掲載
合 計	2,912,416	2,739,723	
(単年度収入合計)	(1,128,000)	(916,571)	

(支 出)

科 目	予 算	決 算	備 考
情報活動費	750,000	927,587	J-News印刷費・ 発送料
会 議 費	50,000	24,500	機関代表会議 (岩手大学)
旅 費	300,000	150,000	理事会出席助成
雑 費	10,000	15,525	振り込み手数料・ 送金手数料
予備費 助成	500,000	706,000	事務局・参加助成
次年度繰越	1,302,416	1,132,111	
合 計	2,912,416	2,739,723	
(単年度支出合計)	(1,610,000)	(1,607,612)	

## Ⅲ. 平成15年度監査報告

平成15年度ユフロJ事業会計について監査した結果、各種帳簿ならびに証拠書類はいずれも、正確に整理・記録されており、本件経理は適正であったことを認める。

平成16年3月23日

IUFRO-J 監事

財団法人 林業科学技術振興所 事業部長  
三國 昇

平成15年度ユフロJ事業会計について監査した結果、各種帳簿ならびに証拠書類はいずれも、正確に整理・記録されており、本件経理は適正であったことを認める。

平成16年3月23日

IUFRO-J 監事

社団法人 日本林業技術協会 専務理事  
根橋 達三

## Ⅳ. 平成16年度事業計画案

## 1. 一般会計事業

## 1) IUFRO-J News 発行

番号(予定時期): 掲載記事に関する事務局案、各号とも16ページ予定。

No.82 (2004. 6): 集会報告、機関代表会議報告

No.83 (2004.12): 集会報告、理事会報告

No.84 (2005. 3): 集会報告

各1300部印刷し、会員配布

※注: 掲載記事は、IUFRO活動で会員に広く知らせたい事項を優先したいと考えます。積極的に事務局にご相談ください。

## 2) 理事会出席助成

理事 鈴木理事(ソウル2004年10月)

## 3) IUFRO 研究集会事務局・参加助成

未定(助成申請は随時受け付けている。12月末で集計し、選考委員会に諮り、助成対象を決定)

## 4) 長期滞納会員の解消

## 5) 新規会員の加入勧誘

## V. 平成16年度予算案

予算案立案の基本的な考え方

○一般会計予備費を関連研究会助成に活用する方向を継続する。

○単年度収支に心がける。

## 1. 一般会計予算案

(取 入)			(支 出)		
科 目	予 算	備 考	科 目	予 算	備 考
前年度繰越金	1,132,111		情報活動費	750,000	J-News印刷費・発送料・封筒代
会費 A会員	817,000	28機関	会 議 費	50,000	機関代表会議(東京大学)
B会員	149,000	23機関	旅 費	150,000	理事会出席助成
C会員	39,000	39名	雑 費	10,000	振り込み手数料・送金手数料
未 収 分	114,000	会費未収(H15年度合計)	予備費 助成	500,000	事務局・参加助成
次年度前納			次年度繰越	792,111	
雑 収 入	1,000		合 計	2,252,111	
合計	2,252,111		(単年度支出合計)	(1,460,000)	
(単年度収入合計)	(1,120,000)				

## VI. 役員選出, 承認

## 平成16年度役員候補

役員	氏名	所属	区分	任 期	官職による指定
議長	田中 潔	森林総研	現	(H15年4月～)	理事長
幹事	沢田 治雄	森林総研	現	(H15年4月～)	研究管理官(海外担当)
	田中 俊成	森林総研	新	(H16年4月～)	研究協力科長
監事	根橋 達三	日林協	現	(H14年4月～)	
	三國 昇	林振	現	(H9年10月～)	
主事	堀 靖人	森林総研	現	(H15年4月～)	海外研究協力室長

## VII. その他

会員の減少などによりIUFRO-Jの会計が赤字体質となっている。会員を増やすために、IUFRO関連研究会事務局費・参加費の使い方をより広く配布するなど魅力

あるものにしたらどうか、経費を削減するために会誌発行の代わりにPDFファイル化して電子メールで発信する方法も考えたかどうかという提案があった。これらの提案は事務局の検討事項とした。

## 事務局からのお知らせ

## 1. IUFRO前事務局長が森林総合研究所を訪問

国際森林研究期間連合（IUFRO）前事務局長のH.Schmutzenhofer氏ご夫妻が、去る4月8日に森林総合研究所を訪問されました。同氏は田中潔理事長を表敬訪問し、所内施設を見学されました。同氏のIUFRO事務局での長年にわたる活動に対し、IUFRO-J議長の田中理事長から感謝状が贈呈されました。

## 2. 2005年世界大会のお知らせ

2005年8月8～13日

Brisbane Convention & Exhibition Centre (Brisbane, Queensland, Australia)

## 重要な期限

2004年9月3日 口頭発表申し込み締め切り。

2004年10月1日 各セッションのオルガナイザーに報告者とタイトルの最終的なリストの提供。

2004年12月 登録一覧の公表とすべてのセッションのリストの配布。ポスター発表の募集。

2005年3月 すべての要約の集約。

詳細は下記のウェブサイトでご確認ください。

<http://iufro.boku.ac.at/>

## 3. 日本開催のIUFRO関連集会

○森林の社会的機能に関するIUFRO研究グループ合同会議  
2004年8月23日～29日 北海道大学クラーク会館（札幌市）他

<http://homepage2.nifty.com/k-yamaguchi/index.html>

○カラマツ属の育種および天然資源に関する分科会（Larix 2004）

2004年9月26日～10月1日 京都全日空ホテル（京都市）および長野県塩尻市

<http://genetics.biology.kyushu-u.ac.jp/larix/index.htm>

○持続可能な森林資源管理に関するIUFRO国際研究集会（FORCOM 2004）

2004年10月17日～22日 宇都宮大学農学部（宇都宮市）

<http://fecsun.kankyo.tohoku.ac.jp/FORCOM/index.html>

○ランドスケープ エコロジー 2004

2004年10月25日～28日 つくば国際会議場エポカル（つくば市）

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/symposium/landscape/index.htm>

○木材表面処理国際シンポジウム

2004年11月24日～26日 京都市国際交流会館（京都市）

<http://ss.ffpri.affrc.go.jp/symposium/surface2004/index-en.htm>



写真-1 Schmutzenhofer氏ご夫妻



写真-2 田中潔IUFRO-J議長（写真左）から感謝状を贈呈されたSchmutzenhofer氏（写真右）

## IUFRO-J 入会申込書

- |                    |                             |
|--------------------|-----------------------------|
| 1. 会員種別 (該当するものに○) | 会費 (年間)                     |
| A 会員 (IUFRO 加盟機関)  | 1,000 円×登録研究者数 (当該年度4月1日現在) |
|                    | 500 円×学生会員 (当該年度4月1日現在)     |
| B 会員 (IUFRO 非加盟機関) | 1,000 円×登録研究者数 (当該年度4月1日現在) |
|                    | または、定額 1115,000 円を 1 口以上    |
| C 会員 (個人)          | 1,000 円/人                   |
| 賛助会員 (機関, 団体)      | 1 口 10,000 円を 1 口以上         |

2. 会員名 (A, B 会員は機関・団体名および氏名, 賛助会員は機関・団体名, C 会員は氏名)
- \_\_\_\_\_

3. 会員住所 (会誌送付先, 会費請求先)

郵便番号 \_\_\_\_\_

住 所 \_\_\_\_\_

TEL: \_\_\_\_\_ FAX: \_\_\_\_\_

E-mail: \_\_\_\_\_

4. 登録研究者数 (A, B 会員 \_\_\_\_\_ 名  
必ず、名簿を添付してください。学生会員につきましては区別して記載してください。

5. 会費口数 (B, 賛助会員) \_\_\_\_\_ 口  
B 会員は定額制を希望される場合に記入してください。

6. 機関代表者氏名 (A, B 会員) : \_\_\_\_\_

7. 連絡員氏名 (A, B 会員) : \_\_\_\_\_

8. 申込年月日 \_\_\_\_\_

添付書類: 登録研究者名簿 (様式は任意)

事務局記入: 受付年月日 \_\_\_\_\_

## IUFRO研究集会事務局・参加助成実施要領

対象集会：IUFRO 関連研究集会（参加の場合は、海外に限ります。）

助成金額：事務局　：20万円/団体、  
集会参加：10万円/人　を目途とします。

応募資格：会費を納入している機関、会員

- 会則第5条に則り、研究者登録をお忘れ無くお願いします。事務局で会費納入を確認できない方は助成の対象にできません。
- 研究集会参加は筆頭発表者に限ります。

募　集：随時受け付けています。

別添申請書に必要事項を記入し、必要資料を添付して、下記まで送付。

〒305-8687 茨城県つくば市松の里1番地 森林総合研究所内  
IUFRO-J事務局 宛

選　考：12月末現在で集計し、集計時から1年3ヶ月後までに開催される研究集会を選考対象として選考委員会に諮ります。

(2004年12月末集計時の選考対象は、2006年3月末までに開催される研究集会となります。)

選考結果：IUFRO-J Newsで発表。

配布時期：原則として集会開催1ヶ月前。

(国際集会の場合、キャンセルになる場合もありますので、できるだけ直前とします。)

備　考：助成を受けた機関・会員にはIUFRO-J Newsへの投稿を求めます。

注　意：助成金額はあくまで目途です。

IUFRO-J一般会計の収支状態によって、事務局で勘案いたします。

附　則：

(平成9年4月施行通知、初出IUFRO-J News No.61)

(平成9年7月10日 IUFRO-J News No.61掲載一部改訂)

(平成13年8月 IUFRO-J News No.73掲載一部改訂)

事務局 受付年月日： \_\_\_\_\_

整理番号： \_\_\_\_\_

## IUFRO 研究集会事務局・参加助成申請書

助成区分： 事務局    参加    (どちらかに○)

応募者氏名 (事務局の場合は代表者)：

\_\_\_\_\_

所 属：

\_\_\_\_\_

連絡先： 〒 \_\_\_\_\_

TEL/FAX \_\_\_\_\_

E-mail \_\_\_\_\_

研究集会名：

開催時期・場所：

集会規模：(概数)

IUFROとの関連：(例 第x部門のワークショップまたはシンポジウム)

助成金の主な用途 (事務局の場合)

発表題目 (研究集会参加の場合)

添付資料 (集会の内容や発表がわかる資料を、必ず添付してください。)

## 国際森林研究機関連合—日本委員会会則

### (名称と目的)

第1条 本会は、国際森林研究機関連合—日本委員会(略称をIUFRO-Jとする)と称し、国際森林研究機関連合(以下IUFROと呼ぶ)の目的に沿って、その事業に協力するため、国内の森林・林業・林産業に関連する研究機関の相互連携を図るとともに、IUFROに関連する諸活動に貢献することを目的とする。

### (業務)

第2条 本会は、前条の目的を達成するため次の業務を行う。

1. わが国におけるIUFRO加盟機関相互の情報交換の推進および連絡調整
2. IUFROの評議員会への代表および代理の決定
3. IUFROが組織する研究グループ活動の支援
4. その他本会の目的達成に必要な事項

### (事務局)

第3条 本会は、事務局を、茨城県つくば市松の里1森林総合研究所内におく。

### (会員)

第4条 本会の会員は、次の4種とする。

1. A会員 IUFRO加盟機関
2. B会員 IUFROに加盟していないが、本会の趣旨に賛同する森林研究機関
3. C会員 A、B会員の機関に所属していないが、本会の趣旨に賛同する個人
4. 賛助会員 本会の趣旨に賛同する機関または団体

### (機関会員の研究者登録)

第5条 A、B会員に所属し本会の趣旨に賛同する研究者は、本会に登録するものとする。登録研究者に異動のあった場合は、その都度事務局に連絡する。

### (会費および会計)

第6条 会費は次のとおりとし、毎年度のはじめに納入するものとする。A、B会員の会費は、当該年度4月1日におけるその機関の登録研究者数に応じた額(1人当たり年額1,000円、但し学生会員は500円)とする。ただしB会員については、定額制(年額1口5,000円を1口以上)をとることもできる。C会員の会費は年額1,000円とする。賛助会員の会費は年額1口10,000円を1口以上とする。

第7条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

第8条 本会の予算および決算は、機関代表会議に提出して、その承認を受けるものとする。

### (役員)

第9条 本会に、次の役員をおく。

- |    |                  |
|----|------------------|
| 議長 | 1名               |
| 幹事 | 若干名(うち1名を幹事長とする) |
| 監事 | 2名               |
| 主事 | 1名               |

第10条 議長は本会を代表し、会務を総括する。幹事は、会務執行に関する事項を審議し、幹事長は会務を執行するとともに議長を補佐し、議長にさしつかえあるときはその職務を代理する。監事は、会計および会務執行の状況を監査する。主事は幹事長の職務を補佐する。

第11条 役員の出選方法は、次のとおりとする。議長、幹事および監事は、機関代表会議で選出し、幹事長は、幹事の互選とする。主事は議長が委嘱する。

第12条 役員任期は、2ヶ年とし、再任を妨げない。任期中に欠員のできた場合は幹事会において選出し、次期機関代表会議で承認をえるものとする。欠員を補充するため選出された役員任期は前任者の任期の残りとする。

### (会議)

第13条 会議は、機関代表会議および幹事会とする。

第14条 機関代表会議は、A、B会員それぞれの機関で選ばれた代表(1名)で構成する。通常毎年度頭初に開くこととし議長が召集する。機関代表会議では、会務報告、予算、決算の承認、第2条2項等会の重要事項を審議決定する。

第15条 幹事会は、議長および幹事をもって構成し、議長が召集する。幹事会には、議長の指名する者を参加させることができる。

### (その他)

第16条 本会々則の変更および本会に関する重要事項は、機関代表会議で決める。

- 付則
- 1) 各機関に連絡員をおき事務局に登録する。
  - 2) 本会則は昭和54年4月7日より施行する。
  - 3) 昭和57年6月24日一部改訂(第6条 学生会員の会費)

IUFRO-J News No. 82 平成16年8月13日  
 国際森林研究機関連合—日本委員会事務局  
 茨城県つくば市松の里1 森林総合研究所内  
 TEL 029-873-3211 (232) [編集・発行]